

令和5年度広島大学第3年次編入学試験  
法 学 部  
問題「外国語(英語)」解答例等

問題〔I〕

問1. 難民は一般的に、戦争や政治的抑圧を原因にして家を迫られる者と考えられているが、気候難民は気候変動による自然災害から家を失った者であり、その数は非常に多い。

問2. 2018年に国連は気候難民に対してビザの発給などにより、国境を越えた移住を支援するよう求める文書を採択した。

国連難民条約で保護されるのは迫害その他の人権侵害から逃れた人々であり、これに気候難民は含まれていない。加えて、先進国は途上国からの移住希望者の流入数が増えることを危惧して、気候難民の受け入れに及び腰である。

問3. 気候難民の問題はその影響が直接に及ぶ国・地域だけの問題ではない。自然災害には国境がない。数多くの専門家が、温室効果ガス排出削減と住む場所を失った人々に家を見つけることについて、国際社会が協調して働くべきだと主張している。

問題〔II〕

問1. 私は、歴史研究が進展することで初めて人々は当時の苦境を知るというバターフィールドの言葉が、他の大きな戦争にもまして、第二次世界大戦に当てはまるとは思わない。

問2. 世界の勢力均衡は、西側にとって決定的に不利になった。

問3. 軍事的なハンディキャップを抱える西側諸国が、全体主義国家と手を結んでその他の全体主義国家を撃破した場合、協力した相手国の力を相対的に強化し、その国は貪欲で冷酷な債権者として平和会議に参加することになり、また、西側諸国に協力した全体主義国は軍事行動の帰結として、東ヨーロッパの大部分を占領することになること。